

予算審査特別委員会会議録

1 開会日時 令和3年3月2日(火) 午前10時20分

2 閉会日時 令和3年3月2日(火) 午前10時55分

3 会議場所 議会協議会室

4 出席委員

1 番 永徳 省二君	2 番 大森 進次君	3 番 佐藤 武君
4 番 佐々木雄司君	5 番 光成 良充君	6 番 保田 守君
7 番 大口 浩志君	8 番 治徳 義明君	9 番 原田 素代君
11 番 松田 勲君	12 番 北川 勝義君	13 番 福木 京子君
14 番 佐藤 武文君	15 番 岡崎 達義君	16 番 下山 哲司君
17 番 実盛 祥五君		

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

市長 友實 武則君	副市長 前田 正之君
副市長 川島 明昌君	教育長 土井原康文君
総合政策部長 安田 良一君	総務部長 塩見 誠君
財務部長 藤原 義昭君	市民生活部長 作本 直美君
保健福祉部長 入矢五和夫君	産業振興部長 是松 誠君
建設事業部長 杉原 洋二君	消防長 井元 官史君
教育次長 有馬 唯常君	

7 事務局職員出席者

議会事務局長 元宗 昭二君	副参事 逢坂紀美子君
---------------	------------

8 審査又は調査事件について

1) 議第16号 令和3年度赤磐市一般会計予算の再審査について

9 議事内容 別紙のとおり

午前10時20分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

この際、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の再審査の件についてお諮りします。

議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算につきましては、2月26日に議決しましたが、修正議決した部分に義務費が含まれていたことにより、再び審査を行いたいと思います。

議第16号の再審査を行うことに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、議第16号を再審査することに決定いたしました。

それでは、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について再審査を行います。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） すいません、今回の修正動議を出したいと思います。

○委員長（大森進次君） 修正動議は1人の委員の提出で成立いたします。

それでは、ここで資料準備のため10分程度休憩したいと思います。

10時半まで休憩といたします。

午前10時22分 休憩

午前10時30分 再開

○委員長（大森進次君） 再開します。

それでは、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算に対しては、原田委員から修正動議が提出されました。

この際、提出者の説明を求めます。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今お手元に配付していただきましたように、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算に対する修正動議、上記の議案に対する修正案を別紙のとおり、赤磐市議会会議規則第101条の規定により提出いたします。令和3年3月2日、赤磐市予算審査特別委員会委員長大森進次殿。提出者、赤磐市予算審査特別委員会委員原田素代。

資料を見ていただきますと分かりますように、修正案の裏面、1番、第1条第1項中、195億2,102万円を193億7,684万6,000円に修正するものであります。修正額は1億4,417万4,000円となっております。

なお、提出理由も併せてここで申し上げたいと思います。

令和元年10月に岡山県から新たな洪水による浸水想定が公表されました。それによれば、市役所2.2メートル、立川3.3メートル、岩田6.3メートルと、従来より深刻なデータが発表され

ています。しかし、友實市長は昨年1年間、議会には30センチだの浸水対策は不要など答弁してきました。これは隠蔽ではなく、虚偽、うその答弁と言わざるを得ません。昨年12月議会では、うそをついた理由をただすと、いたずらに市民を怖がらせるべきでない、避難が現実的でないと答弁されています。

議会は、市役所の耐震化大規模改修工事に関しては、従来の浸水データを前提に議論してきました。しかし、ここに来て、3年前に新たな浸水想定が明らかになった上、市長自らが議会に対してうそをつくという前代未聞の議案となっていました。そこで改めて、耐震化大規模改修工事について、議会としての検証を始め、議論を行う必要があります。

そこで、今回の一般会計当初予算の議第16号、設計・施工監理委託料のうち義務費となっている7,700万円を除いて、1億4,417万4,000円の削除を求める修正動議を提出するものであります。

以上です。

○委員長（大森進次君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） ちょっと確認なんですけども、その進め方の確認なんですけど、先般予算審査特別委員会で修正案が出まして可決されました。その中に7,700万円ですか、削除できない項目が入っていたということですから、普通考えると、この間議決したものを1回取り消して、必要なことがあるのであれば再度それを検討するという流れになるんじゃないかなと思うんですが、全くそういう修正を取り消すことなく、新たな修正動議が出れば、それで審査を進めることができるものなのかどうなのか、事務局のほうに確認をしていただきたいと思っています。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 元宗議会事務局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） 先ほど委員の御質問でございます。この再審査が執り行われるということで、まず当初予算の案に戻りますので、ここでもう既に取消しがなされたという考え方になります。

以上です。

○委員（佐々木雄司君） 結構です。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑はありませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 先ほど提出者の委員のほうから7,700万円の義務費の減額をするという御説明がありました。その中で、委員長報告の中にも盛り込ませていただきましたけれども、6月に1億2,000万円議決されてますね。それから、今回が2億2,000万円の予算という、令和3年度の予算だと思うんですけども、この7,700万円の義務費というのはどこに含まれるのか、ちょっと御説明いただきたいと思います。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（原田素代君） 失礼しました、委員長、もう一度質問の趣旨をお願いします。

○委員長（大森進次君） 7,700万円です。

○委員（岡崎達義君） 7,700万円の義務費がどこに含まれているかです。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 私が持ち得る情報ですが、この一般会計の71ページには、設計・施工監理委託料、この中の1億1,522万7,000円のうちの約7割、7,700万円が契約済みの義務費になっていると聞いております。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 聞いているという説明なんですけれども、この際、執行部のほうにも質問が可能かどうか、可能だという確認はしたんですが、明確に執行部のほうから説明をいただければと思います。

○委員長（大森進次君） 執行部の説明を求めます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 令和2年6月に予算計上させていただいたものは、実施設計と改修工事の債務負担行為の2種類がございました。今回、実施計画の話で討論されてると思うんですけど、2年の実施計画で総額1億1,000万円がこのたび契約をされております。それで、2年度に先払い分を払うようになってまして、その金額が3,300万円、3年度の支払金が7,700万円となっておりますということでございます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） すいません、ちょっと十分理解できないんですけども。令和3年度の予算が今回示されましたが、その中に7,700万円が計上されてるということですか。それから、令和2年度の3,300万円と言われたんですけど、令和2年度の補正がありますよね。この中

にはもう含まれてないということですか。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 明確に言いますと、債務負担行為をしておりますので、予算的に言いますと、実施設計につきましては、予算的には2年度が5,191万2,000円、3年度は予算では1億1,522万7,000円となっております。1月6日の契約によって、総合的には契約が1億1,000万円となっておりますので、3年度の予算書のほうには1億1,522万7,000円が計上されております。それで、実質的に契約を結んでるのが7,700万円でありますので、義務費は7,700万円という話になっておろうかと思えます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 3年度で1億1,522万7,000円の金額を計上して、現実には7,700万円の契約を結んでいると。となれば、残りの6,500万余円ですか、この部分についてはどういう処理をされる予定ですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 今回出ている動議につきましては、3年度分はその義務費のみを残すという形になっておりますので、その実施設計の予算額の残額は、それは引かれたものと解しております。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） すいません、質問が十分でないんですけども、要するに7,700万円の減額修正案が今日現在出されたんですけども、その7,700万円が令和3年度の義務費としての金額全てという理解でよろしいんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） ちょっと分かりにくいところもあったんですけど、令和3年度の予算のうち、その義務費である7,700万円が予算として残ってるという形になります。総合計では、2年と3年では契約は1億1,000万円です。そのうち、予算で残るといいますか、ここで計上されてるのが、この庁舎の実施設計では7,700万円だけということになります。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 難しい話は、皆さん理解できんような話をしてもろうても困るんで、議会のメンツも立ててもらわにゃいけん、執行部もうまくやらにゃ困るんですから、今のさきのこの予算審査特別委員会でした金額が、義務費を削除したものは、皆さんはもう理解してあれをせにゃいけんので、その部分は議会のメンツを立ててもらわにゃいけんし、それから執行部のほうも運営上で困ることがあったら困るんで、その辺のきちとした境の説明をしてもらわんと、今の話を聞きよったら、いろんな話を聞いて混ぜこぜになってしまうんで、きちっと筋を通して説明をしてください。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 前回の修正議決により減額された経費は2億1,117万4,000円でありました。そのうち7,700万円は、令和2年度の6月第4回の赤磐市議会の定例会において可決された債務負担行為補正で、本庁舎等の改修整備事業実施設計、仮庁舎施設修繕工事分に基づき、令和3年1月6日に赤磐市役所本庁舎等改修工事実施設計業務委託の契約を締結しております。このものにつきましては、地方自治法の第177条第1項第1号に規定する、その他の普通地方公共団体の義務に属する経費に該当するところでございます。7,700万円についてはそういうことでございます。

契約につきましては、令和3年1月6日に行っております。金額は1億1,000万円。そのうち、2年度分の支払いは3,300万円。前払いを除く額につきましては、3年度分が7,700万円となっております。期限につきましては、令和3年1月6日から令和4年2月28日までとなっております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 先ほど佐藤武委員がおっしゃられたのは、この設計・施工監理委託料の1億1,522万7,000円のうち7,700万円の説明は分かりましたと。そのほかのものって何なんですかっていうことをお尋ねしてるわけですから、それって何なんですかっていうことをお話しただいたらいいんじゃないですか、単純に。7,700万円のことはもう分かりましたという話です、多分。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） はい。

○財務部長（藤原義昭君） 1億1,522万7,000円は予算計上してるもので、契約によってそれ

で残となるということになります。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） いやいや、そうじゃなくて、7,700万円は分かりましたと。差し引いたら何ぼになるか。3,000万円ちょっとぐらいが残るでしょう。残るものって何なんですかということ。残るものの名目を教えてくださいということを言われとんじゃないかと思うんですけど。

違うか。勝手なことを言いましたか。

○委員（佐藤 武君） いや、いいですよ。

○委員（佐々木雄司君） 取りあえず、そこを教えてください。3,000万円ちょっとというのは、ものは何なのか。何に使うお金として計上しとんですか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 1億1,500万円につきましては、予算計上は昨年の12月末でしておりますので、それを計上しております。そして、契約は1月6日となっておりますので、その差額となります。

以上です。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 減額修正が、提出者の説明では7,700万円、それから執行部に確認しましたということと言われたと思うんですが、7,700万円の減額、義務費ということなんで、地方自治法上からいけば執行するということなんで、その7,700万円以外はその義務費はないんですかと。議会としては、7,700万円の減額修正が今出されてるんですけども。

○委員（原田素代君） 違う、残るの。

○委員（佐藤 武君） 残るね。はい。

ほんなら、その1億1,500万円を12月末に計上して、計上された部分からその7,700万円を引いた部分はどういうふうな処理をするんですか。

○委員長（大森進次君） そしたら、説明をもう1回。

原田委員。

○委員（原田素代君） 私の提案が悪くて大変御迷惑かけました。

前回のことはもう忘れてください。このたびは、なぜ今日急遽再調査の委員会が開かれたかということは、今議論されてる7,700万円という金額は、既に1月6日に赤磐市は設計業者と契約を交わしている。契約を交わしてしまったことによって、義務費として扱いが変わるので、義務費を議決で落とすことはできないという地方自治法上の根拠だという説明を私は理解

しています。私としては、納得はしてませんが、地方自治法上そういうルールだということなので、ここでいいますところ、当初2億2,117万4,000円、要するに設計料と工事料を足すと2億2,117万4,000円を修正動議かけましたけども、このうちの7,700万円は義務費だからこれだけは別にしてくれという扱いで、今日はここで議論してるわけです。そうすると、残りが1億4,417万4,000円。1億4,417万4,000円の修正動議に至ったということで、今日は私の修正動議をさせていただいてると理解していただければと思います。

○委員長（大森進次君） よろしいか。

ほかに質疑ありませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ここに至った関係上で執行部のほうから弁明することがあるんなら、ここで聞いていただきたいというふうに思いますが、ありませんか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 発言の機会を与えていただきましてありがとうございます。

このたびの修正動議が提出されましたが、これについては、内容について、あるいは想定最大の浸水深、これらについての説明不足が起因しているという反省をしております。説明をしっかりとしながら、これらについても再度御協議をさせていただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑ありませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 確認したいんですけど、義務費になったということについて、事務局も含めて議会は全く知らなかったわけです、今回この予算が計上された時点で。私は、工事料はまだ契約に至ってないという説明も聞いていました。要するに、契約に至ると義務費になるわけです。そうすると、ここで言う設計委託料と工事料、2つあるわけですけども、工事料は至ってない。だけど、設計料は、あの修正動議をかけた途端に、いや、義務費だと言われた。このそご、この問題はどこに責任があるんでしょうか。どう今後解決していくんでしょうか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 藤原財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 契約の説明につきましては、1月22日の総務常任委員会のほうで説明させていただいております。また、さきの松田委員の質疑の中で、契約を1億1,000万円で行ったところだと本会議場での答弁をいたしたところでございます。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） 質疑なしと認めます。

それでは、ただいまから議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について採決したいと思います。

まずは、議第16号に対する原田委員から提出された修正案について採決したいと思います。
本修正案に賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 賛成多数です。したがって、修正案は可決すべきものと決しました。

続きまして、ただいまから修正議決した部分を除く原案について採決したいと思います。

修正議決した部分を除く部分を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、修正議決した部分を除く部分は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で再審査は全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算審査特別委員会を閉会いたします。

皆さん、大変お疲れさまでした。

午前10時55分 閉会